

◎令和6年度 横須賀市学校教育賞審査結果について

横須賀市学校教育賞は、「研究部門」と「実践・企画部門」の2分野で論文の募集を行っています。

令和6年度は、研究部門0点、実践・企画部門に3点の応募があり、厳正な審査の結果、次のように決定しましたのでご報告いたします。

なお、実践・企画部門の受賞につきましては、「教育振興賞」が最高賞、次いで「努力賞」「奨励賞」の順となります。

1 教育振興賞【実践・企画部門】

(1) 受賞者

テーマ	応募者	審査結果
学校事務職員が行う働き方改革 ～ ICT を活用した学校運営参画 ～	追浜中学校 吉富 溪佑 事務主査	教育振興賞

(2) 研究概要

学校事務職員ならではの視点で、教頭・事務職間の複雑な事務処理の簡潔化や、教職員の働き方改革のマネジメント意識の向上を目指し、動向表や出勤の管理など、ICTによる業務改善を行った。

(3) 審査講評

働き方改革の目的をよく理解し、まさに今日的な課題に対し、ICTを活用した取り組みを実践しており、教職員が業務改善を行える優れた実践報告である。また、学校事務職員の立場で自身の知識や技能を活用し、学校運営に参画しようとした点や、汎用性の高さなど、「実践・企画部門」にふさわしい内容で高く評価できる。これらのことから、「教育振興賞」とする。

2 努力賞【実践・企画部門】

(1) 受賞者

テーマ	応募者	審査結果
学校の心理的安全性の向上 ～対話促進エクササイズの開発～	野比小学校 大橋 幸史朗 総括教諭 佐古 明香里 教諭	努力賞

(2) 研究概要

児童の関係づくりに効果をもたらす「構成的グループ・エンカウンター」を用いて校内の心理的安全性を高め、昨年度の実践に加え、より対話が促進するよう改善し、教職員の同僚性と児童の対話的な学びを向上させる実践を行った。

(3) 審査講評

対話的な学びのためには、心理的安全性の確保は不可欠である。これまでの研究を発展させ、授業で実践したことは成果として高く評価できる。また、前年度の実践をさらに分析し、より汎用性が高まるよう改善した点は、大いに評価できる。実践・検証についてさらに継続・発展していくことを期待し、「努力賞」とする。

3 奨励賞【実践・企画部門】

(1) 受賞者

テーマ	応募者	審査結果
日常生活の事象を題材とした「統計的な問題解決」を意識した実践について 第6学年 算数科 データの考察 「正しい姿勢で、雑巾を使った掃除ができているのか？」	高坂小学校 正 拓也 教諭	奨励賞

(2) 研究概要

「雑巾がけを正しい姿勢で行う」という、日常生活の中で身近な事象を課題として取り上げ、体育の新体力テストの結果と結び付けて、算数科の統計的な問題解決の場面を設定し、実践を行った。

(3) 審査講評

算数科の授業におけるデータの活用の際し、日常生活の事象を題材としており、児童が取り組みやすい実践的なテーマ設定に創意工夫を感じる。しかし、実践で扱われた新体力テストの「反復横跳び」は敏捷性の指標であり、筋力や 体幹の強さを直接示すものではなく、結果との関連性については検証が必要である。この点に課題は見られるが、日々の算数科の授業を他教科の内容や日常生活と結び付け、算数科の統計的な問題解決への試みを評価し、「奨励賞」とする。